

JSA 神奈川支部通信

No. 10 October 2023 日本科学者会議神奈川支部 発行

事務局長：☎230-0071 横浜市鶴見区駒岡 3-30-G-408 飯岡ひろし

HP : <https://jsa-kanagawa.jp>、携帯電話 080-1987-0994、E-mail : [iioka408\(at\)gmail.com](mailto:iioka408(at)gmail.com)

年会費 10800 円、院生・読者 5400 円 ゆうちょ銀行振替口座 0280-1-12774 日本科学者会議神奈川支部

この号の目次

- ◆ 第 22 回東京科学シンポジウム「理性と希望の平和な時代を拓く」のお知らせ JSA 東京支部
- ◆ 横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対県民署名の中間報告&上映会を開催 後藤仁敏
- ◆ 安保法制違憲かながわ訴訟 3 回控訴審で石川健治教授らの証人尋問が採用される 後藤仁敏
- ◆ プレ企画：23/10/5 九条の会大集会を成功させるために大軍拡反対！憲法改悪を止めよう 後藤仁敏
- ◆ コロナ感染顛末記 神奈川民間懇 北山宏之
- ◆ JSA 第 1 回関東甲信越地区会議の報告 茨城支部 小滝豊美
- ◆ 「JSA 学際研究・市民科学発展プログラム」のサポーターを募集します！ JSA 研究企画部
- ◆ 2024 年度 JSA 助成研究を募集します JSA 研究助成委員会

第 22 回東京科学シンポジウム「理性と希望の平和な時代を拓く」のお知らせ

日本科学者会議東京支部

12 月 9 日から 10 日に、第 22 回東京科学シンポジウムが「理性と希望の平和な時代を拓く—国際的な軍事緊張の高まりに抗して」をテーマに、都内の会場でのリアル開催（一部オンライン配信）が日本科学者会議東京支部により準備されています。以下は、実行委員長の米田貢さんの呼びかけです。

COVID-19 によるコロナパンデミックの真ただ中で開催された第 21 回東京科学シンポジウムから 1 年半余が経過し、今年もまたシンポジウムを準備する季節となりました。

コロナ危機は、感染者数約 7 億 6800 万人、死亡者数約 694 万人（WHO 調べ 2023 年 6 月 21 日現在）という自然由来の大惨事となりましたが、今回のシンポジウムは、未曾有の政治危機の状況下で開催されます。

2 回の世界大戦を経て、人類は国際連合憲章において国家間の侵略戦争の禁止を国際的に合意しました。国連は人類が現代において到達した誇るべき国際政治システムであり、その基礎には世界市民の恒久平和を願う政治文化の成立がありました。この国連の安全保障理事会の常任理事国であるロシアが、あろうことか、国連憲章を踏みにじり 2022 年 2 月に特別軍事行動という名目で、突然隣国ウクライナに対して公然と軍事侵略を開始し、首都キエフの制圧をめざしました。それ以降、ゼレンスキー大統領を中心に団結したウクライナ国民による祖国防衛の断固とした反撃の下、ミサイルやドローンなどの現代的な殺戮・破壊兵器が大量投入され、両陣営で日々多数の兵士がなくなり、さらにウクライナでは子どもや老人、女性を含む多大な市民が犠牲になっています。ウクライナに対する侵略戦争の勃発という政治的ショックを契機に、今ロシアとウクライナを軍事支援する NATO 諸国との間で終わりの見えない国家間の戦争が激化しています。ロシアは当初から戦術核兵器の使用の脅しをかけてきましたが、市民生活に不可欠の巨大ダムが破壊され、ザポロジエ原子力発電所における戦術的な「事故」発生懸念が広がっています。

権威主義国家（専制国家）と民主主義国家との対立という一面的な構図が作り上げられ、いわゆる自由主義諸国でもロシアでも、そして必ずしもいずれの陣営にも与しない新興諸国でも、軍事優先の政治的風潮が助長され、軍事費が国際的に急拡大しつつあります。現代福祉国家は、戦争国家の台頭によって後景に迫いやられつつあります。

1980年代以降新自由主義の政治潮流は、数十年にわたって世界を席卷してきました。新自由主義の目的は、労働者保護の法的枠組みと人権尊重の手厚い社会保障制度を備えた現代福祉国家の破壊であり、多くの自由主義諸国で、労働法制を中心に各領域で規制緩和が推進され、多くの公的セクターで、国民の財産が大企業に売却されてきました。この結果、それらの諸国では、グローバル企業の成長の対極で、労働者や勤労市民の貧困は、生存権そのものが脅かされる極限状況にまで悪化してきました。新自由主義の政治潮流を担う政治家や高級官僚、グローバル企業経営者たちは、新たに出現しつつある政治状況を利用して、「自国の防衛」や「安全保障の強化」を吹聴することによって、新自由主義が生み出した深刻な貧富の対立、それに起因する社会諸矛盾から市民の目をそらせようとしています。

国権の発動たる戦争を放棄し、そのためにあらゆる戦力の不保持を憲法に銘記している日本でも、中国を敵視する米国との軍事同盟関係に基づいて、「台湾有事」の想定の下に軍事費が一挙2倍化され、南方への自衛隊の配備が着々と進められています。日本では、1990年代以降非正規労働者の急拡大を基礎に賃金の大幅な切り下げが行われました。今や日本の賃金水準は先進諸国の中で最低水準に張り付いています。急激な軍事費の拡大が、社会保障や福祉のさらなる削減や増税に帰結していくことは、明らかです。憲法第9条と第25条を持つ日本が、軍事的緊張が高まる現在、平和で人権が豊かに保障される社会の実現の先頭に立つことが、国際的に求められています。

日本科学者会議東京支部は、この現状認識に基づいて、第22回の東京科学シンポジウムのメインタイトルを「理性と希望の平和な時代を拓く」に戻し、サブタイトルを「国際的な軍事的緊張の高まりに抗して」とします。もちろん、このテーマの下でも、自由な分科会設定は大歓迎です。地層学的に人新世紀が問題となるほどに地球環境破壊問題は深刻化しています。急速に発展しつつあるAIが生活、労働、学校をどのように変えていくのか、先進国の名に値しない日本のジェンダー不平等問題や学問の自由を踏みにじろうとする政府の企みにいかに反撃していくのかなど、科学者として解明し、市民と連帯して解決すべき問題は山積しています。会員の皆さんの、積極的な分科会設置を呼びかけます。

また今回は、4年ぶりに対面形式での開催です。初日に懇親会も予定していますので旧交を温めながら、美味しいお酒を酌み交わしましょう。

今後のスケジュール：8月15日 分科会開設の応募締切。9月10日 2nd Circular 発行（開設する分科会を公表。分科会発表者を募集）。10月5日 分科会発表者の応募締切。10月25日 分科会発表者の予稿の提出締切。11月10日 3rd Circular 発行（最終プログラムを公表。参加者を募集）。11月末頃 予稿集発行（参加者は電子ファイルをダウンロード。冊子希望者には実費頒布）。12月9日～10日 第22回東京科学シンポジウム開催（今後、会場を確定する過程で前週（2日～3日）や翌週（16日～17日）に変更する可能性があります。東京科学シンポジウムは東京支部の今年最大の企画であり、会員が集い、日頃の研究成果を発表する場でもあります。初めての方も歓迎します。今回は会場でリアル開催します。一部オンラインでの発表希望者がいる場合は、実行委員会までご相談いただければ、基本的にお認めする予定ですが、ただその

場合も、基本的には 分科会設置責任者の責任でオンライン発表の準備をしてください（現在申請中の会場は、分科会会場で Eduroam が使えます）。なお、万一感染症の拡大など不測の事態が発生した場合は、オンライン開催に変更することもあります。今回シンポジウムの主な企画特別報告（2 つ程度）、分科会（20 程度）などを予定しています。分科会は初日午前、2 日目午前、午後に開催する予定です。各種イベントの企画プレ企画や当日のイベントとして、ポスターセッション、各種の展示と懇親会などの企画を検討しています。ご意見をお寄せください。

第 22 回東京科学シンポジウム実行委員会：青木和光（支部常任幹事）、浅野雄大（支部常任幹事）、江川章（支部幹事）、衣川清子（支部常任幹事）、佐川清隆（支部幹事）、○佐久間英俊（支部事務局長）、佐藤和宏（支部幹事）、多羅尾光徳（支部幹事）、中島明子（支部代表幹事）、森原康仁（支部常任幹事）、森山洸（支部常任幹事）、山村延郎（支部幹事）、吉村さくら（支部幹事）、◎米田貢（支部代表幹事）◎：実行委員長、○：実行委員会事務局長 日本科学者会議東京支部第 22 回東京科学シンポジウム実行委員会 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9 階 Tel/Fax：03-3811-8281 e-mail：22nd-kagaku@jsa-tokyo.jp

ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対県民署名の中間報告&上映会を開催

後藤 仁敏

2023 年 8 月 11 日、「横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対県民署名・中間報告&上映会」が、鶴見公会堂ホールで 120 を超える参加で開催されました。

最初に司会の相楽葉子さんが挨拶し、三上智恵監督のドキュメンタリー映画「沖縄、再び戦



図 1 鶴見での中間報告&上映会で登壇する発言者たち

場（いくさば）へ」のスピノフ作品が上映されました。宮古島など南西諸島で進む軍事要塞化に反対する県民の闘いがリアルに紹介されました。

続く中間報告会では、主催者挨拶を金谷和夫さんが行いました。次いで、県民署名の呼びかけ人から岡田尚弁護士と山根徹也横浜市大教授が挨拶しました。「神奈川 3 区野党共闘を求める市民の会」の部隊配備撤回を求める意見書の採択の市議会請願活動について、私が報告しました。

そして「署名推進鶴見区実行委員会」賛同団体として、日本共産党市議団団長の古谷靖彦市議、原水禁鶴見区協議会・横浜東民商支部長の岩森壮介さん、土建一般鶴見支部書記長の田中富夫さん、建設横浜鶴見支部書記次長の三枝哲弥さん、よこはま健康友の会会長の木佐木忠晶県議、新日本婦人の会事務局長の渡辺好子さんが、次々と署名の取り組み状況と決意表明を行いました。

最後に実行委員の五島明朗氏が「署名推進者 400 人の登録を実現し、鶴見区で 2 万筆の署名を達成しよう」との行動提起を読み上げ、目標達成に向かって頑張ろうと意思統一をしました。

安保法制違憲かながわ訴訟の控訴審第3回期日が2023年8月29日、東京高裁101号法廷で開かれ、傍聴席いっぱいの原告らが集まりました。

同訴訟は、安保法制は違憲だとして神奈川県内の422名の市民が集団的自衛権に基づく自衛隊派遣などの中止と国家賠償を国に求めたものです。

交代した新しい協博人裁判長が、申請した証人および控訴人本人尋問を認めるかどうか注目されました。結果は、3人の証人のうち石川健治氏と石井暁氏の2人は採用するが小西洋之氏は留保、控訴人本人については3人とも採用しました。

裁判官側から国側が尋問で質問をしない、反論もしないのはおかしいので、尋問するようにとの要請もありました。その後、法廷は進行協議期日を10月3日（火）13時30分からと決めて閉廷となりました。

終了後、報告集会が開かれました。福田護弁護士は以下のように報告しました。「暑い中ご苦勞様です。傍聴席をいっぱいにした皆さんが裁判長を動かして証人尋問を勝ち取ったのです。証人と控訴人本人は3人ずつ申請しました。

石川健治氏は東大教授で、『安倍政権が、2015年に集団的自衛権を含む安保法制を強行採決したのは紛れもなくあれはクーデターだった』と主張しています。『憲法を改正しないまま、長年にわたり憲法によって禁じていると解されてきた集団的自衛権を容認する法解釈と法整備を強行したことによって、「法秩序の連続性が切断された」と考えられるからです』と述べています。また、この訴訟が法秩序の連続性を回復する最後の機会だとも言っています。

石井暁氏は共同通信の編集局編集委員で、永年、防衛省の取材をしており、最近では自衛隊と南西諸島の取材に力を入れています。二人とも、全国的な共有財産となる証人尋問が期待されます。

小西洋之氏は参議院議員として安保法制国会審議の違法性について証言を求めましたが、すでに長野地裁と埼玉の件での東京高裁で証人となっており、留保とされたようです。

控訴人本人尋問を受ける3氏は、在日2世の朝鮮学校関係者、カトリックの司祭、第五次厚木基地爆音訴訟原告団事務局長で、それぞれの立場からの発言を期待しています」。

岡田尚弁護士は、「22日に全国の弁護団の交流会があった。注目は仙台高裁で、裁判長自らが35分間にわたって長谷部恭男早大教授に尋問している。9月に結審し年内にも判決が出る予定だ。裁判長の法と良心にもとづいた判決を期待する」と発言しました。

質疑応答の後、本人尋問に立つ斎藤昌民さんが決意表明をして、今後も、裁判長に思いを届ける運動を展開することを確認し、閉会となりました。

なお、安保法制違憲訴訟は、全国22の裁判所で25の訴訟が提起され、7699名の市民が原告となり、1685名の弁護士が代理人となっています。現在、安保法制違憲訴訟は、9件が最高裁



図1 報告集会で発言する岡田尚弁護士

に、10 件が高裁に係属しています。このうち、9 月 6 日に、東京での市民 873 人が国に 1 人当たり 10 万円の支払いを求めた国家賠償請求訴訟で、最高裁第 2 小法廷（三浦守裁判長）は原告側の上告を退ける決定を出しました。4 人の裁判官全員一致の結論とされています。違憲かどうかの判断を放棄し、市民 873 人の請求を棄却した一、二審判決を確定させた許しがたい決定です。憲法の守り手である裁判所が、行政や立法の暴走をチェックする役割を放棄し、司法権の存在意義を自己否定したものです。その意味でも、年内にも出される仙台高裁の判決、12 月 13 日と 15 日に予定されているかながわ訴訟の証人尋問が注目されます。

プレ企画：九条の会大集会 23/10/5 を成功させるために大軍拡反対憲法改悪を止めよう

後藤 仁敏

2023 年 9 月 1 日の夜、文京区民センターで 10 月 5 日の九条の会大集会を成功させるためのプレ企画として、高田健さんと小沢隆一さんの講演会が開催されました。佐賀県や大阪府など遠方からの参加者を含め、139 人が参加しました。

渡辺治さんの挨拶

最初に、都合で参加できなかった小森陽一事務局長に代わって、事務局の渡辺治さんが次のような開会挨拶を延べました。「岸田首相は、憲法 9 条を蹂躪して、5 年間で 43 兆円もの大軍拡を強行する一方で、自分の任期中に改憲を実施すると主張している。九条の会は総がかり行動実行委員会と市民連合の協賛を得て、8 月 3 日に事務局声明『岸田政権の軍拡に反対し憲法改悪を阻止する市民の総決起の秋を創ろう』を発表し、『大軍拡反対！憲法改悪を止めよう』のスローガンを掲げて、10 月 5 日に『なかのゼロホール』で九条の会大集会を開催することを決めた。その成功のために、今日のプレ企画を開いた。多くの皆様のご尽力をお願いします」。



図 1 講演する高田さんと小沢さん

高田健さんの講演「改憲の動きの現状と私たちの課題」

高田健さん（九条の会事務局、総がかり行動共同代表）が「改憲の動きの現状と私たちの課題」について、以下のように講演しました（図 1）。

「昨年 12 月に岸田内閣は、国家安全保障戦略、国家防衛戦略、防衛力整備計画の安保 3 文書を閣議決定した。『ウクライナは明日の東アジアかもしれない』と防衛力強化の必要性を強調し、敵基地攻撃能力（反撃能力）の保有と防衛費倍増を強行している一方で、緊張緩和のため対話による外交努力を尽くす姿勢はない。かつての『ハト派』から『タカ派』に変身した。

自民党改憲 4 項目は、自衛隊の明記、緊急事態条項、参院選合区解消、教育の充実になるが、合区と教育は改憲マターではなく、自衛隊明記と緊急事態条項を包むためのオブラードに過ぎない。

改憲手続法（国民投票法）では、国会が発議してから国民投票が実施されるまでの期間を 60 日以後 180 日以内と定めている。この程度では短すぎ、長谷部恭男教授は著書で『2

年ほどは必要だ』と述べている。さらに、この法律には附則 4 条問題（広告やインターネットへの規制）が未解決のまま残されている。

岸田内閣の支持率は時事通信によれば 26.6%、自民党の支持率は 21.1% で、その合計は 47.7% で 50% を割っている。青木幹雄元官房長官は、内閣支持率と与党支持率の合計が 50% を切ると政権が危うくなると述べた（青木の法則）が、まさにその危険水域に達している。

今日の集会をステップに 10.5 九条の会大集会を成功させ、11 月 3 日の憲法公布記念日の総がかり実行委員会の大行動を成功させ、九条の会の 11 月の「軍拡反対、岸田改憲阻止」の総行動月刊をたたかいぬき、全国各地の九条の会や改憲に反対する市民が大軍拡と改憲に反対する多様な行動に立ち上がれば、立憲野党を励まし、市民と野党の共闘を再構築し、戦い抜くことは可能だ」。

小沢隆一さんの講演「緊急事態条項改憲論の問題点」

小沢隆一さん（九条の会事務局、東京慈恵会医科大学教授）は、「緊急事態条項改憲論の問題点」について、次のように話しました。

「日本国憲法の魅力は、軍事的有事を否認し、非常時に際しても立憲主義、民主主義、人権尊重を貫くことだ。改憲はこの原理の破壊を狙っており、9 条改憲と緊急事態条項はワンセットになっている。国会議員の任期延長を『看板』にした緊急事態条項改憲論の問題点を検証する。

第 211 国会では、衆参とも改憲派が 3 分の 2 以上を占めるなか、維新は『突撃隊』の役割を果し、国民民主党もそれに同調し、憲法審査会は衆院 15 回、参院 6 回開かれ、今年は緊急事態時で国政選挙が困難な際の国会議員の任期延長を取り上げた。

しかし、国政選挙が困難になるような緊急事態は自然災害や感染症パンデミックでは想定しづらく、『戦時』を憲法に導入する危険な思惑なのだ。

維新・国民・有志の会による 3 党・会派案では、『戦時』を想定しており、解散によって議員身分を失った衆院議員を復活させて任期延長するという歪みがあり、参院は半数改選なので、全議員がいなくなることはなく、任期延長の必要はない。

自民党の 4 項目改憲案では、緊急事態宣言は内閣の権限であり、法律に代わる政令を制定することができるようにしている。しかも、治安維持のための内閣総理大臣の緊急事態権限はすでに警察法 71 条で規定されており、憲法に緊急事態条項を設ける必要はないのだ。

結局、緊急事態発生時に国会議員の任期延長をするという改憲案は、表向きは議会制民主主義の尊重を掲げるが、その目的は憲法を戦争に対応したものに変えるため、9 条改憲と表裏一体のものなのである。戦時を想定しない憲法こそ、平和・人権・民主主義の実現を求めるものである」。

質疑応答の後、再び渡辺さんが挨拶し、10.5 大集会（図 2）を成功させることを確認して閉会となりました。



図 2 10.5 九条の会大集会のチラシ

手帳を見ながら経過を振り返ってみた。

8月11日(金)、酷暑の中自転車で図書館に出かけた。帰る途中で絶不調となり、深い疲れを感じた。帰宅後、汗だくになりシャワーを浴びていると経験したことのない寒気がした。

12日(土)、食事以外はひたすら眠く、起き上がれず、日中も爆睡。体温は37.5℃で、たちの悪い夏風邪と思っていた。

13日(月)、体温は平熱となり、血圧も正常(上128、下84)だったのでもう直ったかなと思った。ところが14日(月)～17日(木)の4日間は、熱は下がったのに、今度は咳が止まらない。

ここでイヤな予感がしたので、ようやく18日(金)にかかりつけの医院へ出向いた。例の鼻から突っ込まれる抗原検査となり、約5分後に「インフルエンザ無し、コロナ感染！」との結果が告げられた。医者からは「ワクチンを4～5回打ったとのことなので、そのおかげで現在熱は下がっているのだろう」と言われ、5日分の薬を処方され、すべての予定をキャンセルして自宅療養の結果、何とか咳も治まった。

23日(火)、今度はつれあいの体調がおかしくなり、検査の結果コロナ感染と判明した。もう一人の同居人の息子は、多少熱っぽいことはあったが、職場を休むようなことにはならなかった。実は昨年、息子は旅先の岡山でコロナ感染していたので、その免疫が効いたのかも知れない。

その後、私の方とは言えば、9月11日(月)の今日まで、コロナ後遺症に悩まされているようで、コロナ前の体力に戻っておらず、集中力が衰え、体全体に違和感や疲れや怠さが残り、週2～3回の4、5分程度のストレッチや筋トレで体の調子を見ながら何とか回復をめざしている。

知り合いのFacebookからの情報では、旅先で家族全員がコロナ感染し、何もやる気が起こらない時は、バナナとヨーグルトに助けられたとのことだった。

コロナは未だしっかり存在している。今回、地球沸騰化とコロナ禍のダブルパンチを経験することになった。みなさん、お気をつけ下さい。

日本科学者会議第1回関東甲信越地区会議の報告

茨城支部 小滝豊美

第1回関東甲信越地区会議が8月21日の午後7時10分から午後9時まで、開かれました。以下は議事録です。議長は神奈川支部の後藤仁敏、書記は茨城支部の小滝豊美でした。

議事

1) 自己紹介など(可能なら、支部の概要報告を加えて)

・支部事務局長：10人

○ 小滝豊美(茨城)：会員68人、最盛期の約10分の1

○ 丹生淳郷（埼玉）：会員 26 人、7 人幹事。会員が所属する団体の交流を通じて、拡大を図れないか→幹事間での名簿の共有を検討。Zoom とリアル併用で講演会実施。支部の運営については心配ないが拡大が課題。

○ 東崎健一（千葉）：幹事会で、寝たきりになった会員の退会を確認した。似た例 3 件。大規模な大学に会員の供給を期待したい。「学際研究・市民科学発展プログラム」構想の現状は？

○ 青木和光（東京）：今期東京科学シンポを拓大で 12 月 9 日、10 日に開催する。はづきの会、女性シンポ、若手等の活動で会員拡大できている。毎月読書会。今期は分会活動の支援に力点。会員数は漸減して現在 630～640 人、2001 年生まれの会員が入った。幹事 32 人、そのうち代表幹事・常任幹事 8 人で支部運営。総務担当が一人だけ→分担が課題。会員の活動が活発になるように、組織部の活動を強める。

○ 飯岡宏之（神奈川）：横浜市の研究所、支部つうしん作成に努力、幹事会毎月実施

○ 栗生田忠雄（新潟）：『日本の科学者』配布が中心、活発な会員が科学者集会の開催を担った

○ 三木敦朗（長野、事務局次長）：（チャットで発言）長野支部の事務局長の三木敦朗です。信州大学農学部で森林政策学をしています。長野支部は、対外的な活動はできていませんが、支部の内部シンポジウムをオンラインで（県土が広いため）実施しています。次回は 9 月の予定です。

欠席は、荻原明信（栃木）、永田瞬（群馬）、宮本和子（山梨）の 3 名でした。

・地区推薦全国幹事：

○ 後藤仁敏（神奈川）：かつては数百人、今は定年退職者の個人会員が中心。事務局長を若い人に交代して変化があった

○ 山崎 誠（千葉、事務局次長組織部長）：組織部の仕事はオンラインで実施。専門水産学。活動を進めるなかで会員拡大を目指す。

○ 中島明子（東京支部代表幹事）：多様性に関する支部宣言の活動の中で権利保障にたどり着き、「多様性の尊重と人権保障に関する宣言」を発表した。支部ウェブサイトに掲載。東京科学シンポ文化企画を担当する。若い人の活動の流れができています。女性研究者・技術者シンポの紹介

欠席は、吉村さくら（中大院生）、吉沢壮二郎（和光大学）、志田陽子（東京、代表幹事）の 3 名でした。

2) 引継ぎの確認

・大会に提出された地区活動報告に基づいて説明

3) 59 期の課題

・第 2 回幹事会の報告：事務局ニュース 8 月号の記事に基づき概要説明。学際研究・市民科学発展プログラム WG の現状は？ 研究企画部で研究計画書、サポーターリストのひな形ができています。今月中に支部に下ろせるだろう。研究企画部部員 3 人では不足なので、チームを編成して進める。サポートする専門家の確保が課題か。

・地区シンポジウム：理研問題、2024 年度でよいか？ 理研の状況 380 人解雇対象者のうち 196 人が雇用継続、90 数人が雇い止めされた。解雇対象者で JSA 入会した人雇用は継続されたがチームリーダーから一般職に降格、大阪支部に所属。5 人が裁判闘争中でチー

ムリーダー 1 人地位保全、動物飼育解雇撤回 2 人、2 人は継続雇用で取り下げ。裁判の状況は理研ネットで知ることができる。

コメント：理研の離職者の対策会議を開いたらどうか。当事者の意向が重要ではないか。東京科学シンポと 25 総学の間で開催か？ー来年開催で、次回の地区会議でも検討する。理研の問題にとどまらず、問題を広くとらえ、学術体制部等との協力も考えたらどうか。

・その他：国研集会の紹介

4) 意見交換

5) 第 2 回関東甲信越地区会議の日程

11 月頃日程調整して開催の予定。

「JSA 学際研究・市民科学発展プログラム」のサポーターを募集します！

JSA 研究企画部

JSA 学際研究・市民科学発展プログラムとは、「自らの手で社会の問題を解決するために多分野の学問を深く学びたい」という意欲を持った JSA 会員（市民・学生・研究者など）が「発案者」となり、全国の JSA 会員（市民・学生・研究者など）の中から、自らが考える研究の目標達成に主導的に協力してくれる「主協力者」と、研究を側面から支援してくれる異分野の「副協力者」を探索・組織して、その協力のもとで、オンラインによる「異分野（または異職種）協働の学際研究または市民科学」を実施する取り組みであり、その活動を JSA 全体で組織的にサポートするという構想です。

今年（2023 年）5 月の全国大会において、その実施の方向性が確認され、7 月の幹事会において具体的な進め方が承認されました。

つきましては、発案者が全国事務局の支援の下で、主・副協力者を探索・組織していく上で必要となる「サポーターリスト」の構築を開始します。本プログラムに協力したい（「サポーターリスト」に登録してもよい）と思われる JSA 会員の方は、JSA ウェブサイト、トップページの「学際研究・市民科学発展プログラム」<https://jsa.gr.jp/d/gakusai>にある【サポーターへの応募の様式】のファイルに必要事項を記入の上、全国事務局の研究企画部のメールアドレス（kenkyukikaku(at)jsa.gr.jp）まで、添付ファイルとしてお送りください。

今後、サポーターは、随時募集を続けていきますが、なるべく早期にプログラムの体制を整えるために、現時点で参加のご意思をお持ちの方は、2023 年 12 月末までに、ご応募を頂けると幸いです。また本件について、ご質問やご意見のある皆さまは、遠慮なく、研究企画部の同メールアドレスまでお送りください。

2024 年度 JSA 助成研究を募集します！

JSA 研究助成委員会

日本科学者会議研究助成要綱に則り、次の要領で 2024 年度 JSA 助成研究を募集します。

この研究助成には、JSA会員ならどなたでも応募できます。

公募期間：2023年11月1日～ 2024年1月末

研究助成限度額：単年度研究20万円、複数年度研究15万円（3年が上限）

審査：2024年2月 研究期間：2024年4月開始 助成予算：毎年120万円

研究報告書提出：複数年度実施の研究も含め毎年3月末迄に提出すること。

研究成果公表メディア選択報告：研究終了年度末から3か月後(6月末)までに行うこと。

応募方法：JSAウェブサイト (<http://www.jsa.gr.jp>) の会員専用ページ（ユーザー名とパスワードをご存じない場合は所属支部役員にお問い合わせ下さい）から申請書類「JSA 研究助成応募（様式 1）」をダウンロードし、所要事項を入力し申請書ファイルを完成させて下さい。

・申請書ファイルは、公募期間内（厳守）に全国事務局研究企画部kenyukikaku(at)jsa.gr.jp宛に、「2024 年度研究助成応募」というタイトルの電子メールに添付して送信して下さい。申請受付後、速やかに返信メールを送ります。もし返信が届かない場合は、上記アドレスに問い合わせてください。

・各地区から互選された9人の研究助成委員に研究企画部長を加えた10名で構成する研究助成委員会が、提出された申請を審査します。多数の応募をお待ちしています。

・なお、日本科学者会議研究助成要綱は会員専用ページにあります。

行事案内

☆9月23日（土・祝）10:30～16:00 **第27回かながわ反戦ツアー 横浜港を前線基地・出撃基地化させるな！「横浜ノースドックを見る」** 10時30分、さくらリビング(ぴおシティ6F)桜木町駅3分 16時頃、大栈橋解散予定定員24人 費用2000円(資料代・ランドマーク展望室料込み) 10時30分、さくらリビング(ミーティングルーム)学習→ 12時、各自昼食 13時、ランドマーク集合 ランドマーク展望室から説明みなとみらい駅から日本大通り駅に移動し、大栈橋で説明・解散(みなとみらい駅～ 日本大通り駅までの交通費は各自負担) 申込み：かながわ平和憲法を守る会事務局 電話090-1105-6980 瀬川、メールe-kaihou@nifty.com、e-kaihou@ezweb.ne.jp

☆9月23日（土・祝）12:30～13:30 **九条かながわの会・桜木町街宣・署名活動** 場所：桜木町駅前広場（雨天時は野毛ちかみちエスカレーター入口付近） ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対県民署名を集めます。神奈川うたごえの皆さんの合唱のとなりで行ないます。主催：九条かながわの会 連絡先：090-6371-3874

☆9月23日（土・祝）13:00～17:00 **第66回JCJ賞贈賞式・記念講演** 会場：全水道会館4階大会議室（水道橋駅A1出口徒歩2分） 会場からオンラインでも発信します。13時～14時 記念講演：雨宮処凛さん（作家・活動家） 聞き手：鈴木耕（JCJ賞選考委員） 14時～17時 贈賞式 参加費：会場参加（90人まで）1000円、オンライン参加800円 会場参加申込み：メールかファックスで申し込みください（office@jcj.gr.jp、03-6272-9782） オンライン参加申込み：<https://jcjaward2023.peatix.com/>で払込ください。9月22日までにurlを送ります。主催：日本ジャーナリスト会議(JCJ) 電話03-6272-9781

☆9月23日（土・祝）13:00～17:30 **伊藤野枝・大杉栄ら没後100年記念シンポ「自由な自己の道を歩いて行こう** 会場：明治大学駿河台校舎リバティタワー1012教室（御茶ノ水駅徒歩5分） 参加費 2000 円 講師：森まゆみ、鎌田慧、加藤陽子ほか 要申込：0120-154-727、itonoe20230924@gmail.com 主催：実行委員会

☆9月23日（土・祝）13:00～17:00 **第18回シンポジウム 歴史教科書・いままでとこれから 新科目「歴史総合」「日本史探求」「世界史探求」と歴史教育の課題** 会場参加とオンライン参加 会場：早稲田大学早稲田キャンパス7号館307教室（東西線早稲田駅徒歩5分） 資料代：一般1000円、学生・院生500円 石上徳千代さん（歴史教育者協議会）：小学6年の社会科教科書と歴史学習、小川輝光さん（歴史学研究会）：「歴史総合」の教科書と授業実践、小沢弘明さん（千葉大

学)：「世界史探求」における同時代史記述について、依頼中：大学における教員養成の問題 主催：歴史学研究会。歴史科学協議会、東京歴史科学研究会、日本史研究会、地方史研究協議会、歴史教育者協議会、東京都歴史教育者協議会、子どもと教科書全国ネット 問合せ：090-8100-1038 (歴史教育者協議会、竹下) オンライン参加申込み：9月17日までに、オンライン参加希望と明記して、名前、所属、電話番号、メールアドレスをお知らせください。宛先：akadake2020@gmail.com 参加費の送金先を知らせますので、送金ください(手数料は負担してください)。送金確認後、9月21日までにメールでzoomの案内を送ります。定員100名。会場参加：事前申込みを、090-8100-1038またはakadake2020@gmail.comまでお願いします。定員になり次第受付を終了します。

☆9月23日(土・祝) 13:30～15:00 **第38回横浜保育のつどい**(オンライン) 講演：浅井春夫(立教大学名誉教授)「乳幼児期の性と保育」 参加費 1000 円 申込み：<https://yokohama-homonkyo.jimdofree.com/> 問合せ：横浜保育問題協議会(045-663-8720)、中村さん(090-3069-7917)

☆9月23日(土・祝) 13:45～ **平和のつどい** 会場：山内地区センター3階ホール(田園都市線あざみの駅徒歩5分) 講演：市田真理さん(第五福竜丸展示館学芸員)「平和の『語り継ぎ部』宣言～第五福竜丸は今も航海中」 参加費500円、学生無料 主催：実行委員会 問合せ：090-7288-2229(塩野さん)

☆9月23日(土) 15:00～ **JCA-NET セミナー2023 年 9 月 セミナー2 国連サイバー犯罪条約ー今争点となっている深刻な課題とは** 参加費無料 オンラインはJitsi-meetを使用します。オンライン会議室 Jitsi-meet のマニュアル <<https://www.jca.apc.org/jca-net/ja/node/93>> 参加方法：JCA-NET の会員メーリングリスト、セミナーメーリングリストに登録されている方は、当日 30 分前に、メーリングリストからの会議室案内をみてアクセスしてください。JCA-NET の会員以外の方でセミナーに初めて参加される方は予約が必要です。おなまえ、メールアドレス、参加希望のセミナー番号(複数可)を書いて、下記に申し込んでください。jcanet-seminar@jca.apc.org あるいは下記の申込みフォーム(cryptpad のサイト)から申し込むこともできます。<<https://cryptpad.fr/form/#/2/form/view/fMGdE4jMtDamq3690q0c6WtV+Mlfy8rJ4od+08vRm58/>> セミナーに申込まれた方は、セミナーのメーリングリストに登録します。メーリングリストにのみオンライン会議室情報を流しますので、それまでは、メーリングリストに参加していただくことになります。希望のセミナー終了後にメーリングリストから退会された場合は、その旨連絡をいただくか、ご自身で退会の処理をすることも可能です。問い合わせ先 小倉利丸(JCA-NET 理事) toshi@jca.apc.org 070-5553-5495

☆9月24日(日)10:00～ **神奈川県平和委員会定期大会** 1部 議案討議、役員選出 2部 記念講演 川田忠明さん(日本平和委員会常任理事)「台湾有事は日本の有事？」 会場：ヴェルグ横須賀(京急横須賀中央駅u徒歩海側に徒歩7分) 主催：神奈川県平和委員会 (045-231-0103)

☆9月24日(日) 13:30～16:30 **交流集会：憲法を守り生かし、子どもと教育を守る大きな共同を広げよう** 会場：全国教育文化会館エデュカス東京(地下鉄麴町駅)・オンライン併用 講師：小森陽一ほか 要申込：定員70人、主催：実行委員会(Fax. 03-5211-0134、子どもと権利・教育・文化全国センター)

☆9月24日(日) 15:00～ **平和な未来へ「私の願い」コンサート** 会場：小田原三の丸ホール大ホール Kid's Dancing Performance 出演 元劇団四季メンバー & 鶴岡恵 市民合唱団 公演 メインゲスト：加藤登紀子 チケット5000円(全席自由席) チケット販売：小田原三の丸ホール・ハルネ小田原街かど案内所(窓口販売のみ)、平井書店、エプーゼ、鴨宮歯科、IMAYA 主催：実行委員会 後援：小田原市 協力：エレクトーンシティ 問合せ：金子(080-5510-9510)

☆9月24日(日)16:00～18:00 **館野鉄工所墜落事故慰霊・市民のつどい** 会場：大和シリウス610号室(相鉄&小田急江ノ島線大和駅徒歩3分) 参加費 前売り500円 当日800円 記念講演：半田滋さん(防衛ジャーナリスト) 特別報告：市政も変わり、今後の会の進め方など YouTube 配信あり 次のurlからアクセスください。<https://youtube.com/live/G9XSp2ooV9c?feature=share> 主催：館野鉄工所墜落事故慰霊実行委員会 申込み・問合せ：久保(090-2669-4219)、尾崎(046-211-6052)

☆9月25日(月)18:00～ **憲法9条改憲N0!ウィメンズアクション** 場所：JR有楽町駅イトシア前 主催：戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会 性差別撤廃Project Team

☆9月26日(火) 18:00～21:00 **オルタナティブな日本をめざして(第91回)「台湾有事と日本外交・日米同盟」**(孫崎享さん：新ちよぼゼミ) 会場：スペースたんぽぽ 参加費(資料代含む)

800円（学生400円） 高橋セーフビルの1階 JR水道橋駅西口徒歩5分 tel. 03-3238-9035
Email: tanpopo3238@yahoo.co.jp 予約の受付窓口:たんぽぽ舎（水道橋）: TEL 03-3238-9035
FAX 03-3238-0797 上記に電話して「受付番号」をもらってください。

- ☆9月27日（水）19:00～ **JCA-NET セミナー2023年9月 セミナー3 フォローアップ** 参加費無料 オンラインは Jitsi-meet を使用します。オンライン会議室 Jitsi-meet のマニュアル<<https://www.jca.apc.org/jca-net/ja/node/93>> 参加方法: JCA-NET の会員メーリングリスト、セミナーメーリングリストに登録されている方は、当日30分前に、メーリングリストからの会議室案内をみてアクセスしてください。JCA-NET の会員以外の方でセミナーに初めて参加される方は予約が必要です。おなまえ、メールアドレス、参加希望のセミナー番号(複数可)を書いて、下記に申し込んでください。jcanet-seminar@jca.apc.org あるいは下記の申し込みフォーム(cryptpad のサイト)から申し込むこともできます。<<https://cryptpad.fr/form/#/2/form/view/fMGdE4jMtDamq3690qOc6WtV+Mlfy8rJ4od+08vRm58/>> セミナーに申込まれた方は、セミナーのメーリングリストに登録します。メーリングリストにのみオンライン会議室情報を流しますので、それまでは、メーリングリストに参加していただくことになります。希望のセミナー終了後にメーリングリストから退会されたい場合は、その旨連絡をいただくか、ご自身で退会の処理をすることも可能です。問合せ先: 小倉利丸(JCA-NET 理事) toshi@jca.apc.org 070-5553-5495
- ☆9月28日（木）12:00～13:00 **ぜん息患者救済制度の創設を国と自動車メーカーに求める日産本社前行動** 場所: 日産グローバル本社前(JR 横浜駅駅徒歩7分) 主催: 実行委員会など 問合せ: 044-211-0391 (川崎公害病患者と家族の会)
- ☆9月28日（木）15:00～18:00 **『ヨコハマ市民自治を考える会』の定例会** 会場: かながわ県民センター708号室(横浜駅西口徒歩5分) 市民自治に関心のある方は是非お越し下さい。連絡先: Eメール kura335200@star.ocn.ne.jp (倉田さん) 参加費 300円
- ☆9月28日（木）18:00～ **憲法改悪を許さない 総がかり行動 署名街頭宣伝** 場所: 新宿駅 東南口 共催: 戦争させない・9条壊すな! 総がかり行動実行委員会/9条改憲 NO! 全国市民アクション
- ☆9月29日（金）14:00～16:00 **歌って元気!!秋の大うたう会** 会場: 藤沢市民会館第一展示ホール(JR藤沢駅徒歩10分) 会費500円 主催: 藤沢合唱団 問合せ: 070-1315-3501 (新井さん)
- ☆9月30日（土）12:00～13:00 **定例宣伝署名行動** 場所: 桜木町駅野毛口、野毛ちかみち階段前 呼びかけ: 横浜ノースドックへの米軍揚陸艇部隊配備反対連絡会 連絡先: 045-231-0103 (神奈川県平和委員会 飛田久男)
- ☆9月30日（土）14:00～ **安保基地問題学習会** 会場: 相模原市民会館第2大会議室(JR相模原駅徒歩20分) 菅沼幹夫(キャンプ座間周辺市民連絡会代表委員)「神奈川の基地の現状と日米一体化の実態」、田中優行(横浜平和委員会理事)「横浜ノースドックの今と『揚陸艇部隊』」、守谷浩一(座間市議)・羽生田学(相模原市議)「自治体の動きと議会報告」 主催: 同連絡会 問合せ: 090-7724-8172 (菅沼さん)
- ☆9月30日（土）14:00～16:30 **PFAS 問題(水汚染)を追って PART II: 立ちはだかる日米地位協定** 会場: cocobunji プラザリオンホールA(国分寺駅) 参加費 800円 講師: 伊勢崎賢治、松島京太 zoom 参加希望は要申込 (<https://pfas-2-event.peatix.com>) 会場参加は申込不要 主催: PFAS 汚染問題を考える会 (090-8311-6678)
- ☆9月30日（土）14:00～16:00 **ピースデポ「脱軍備・平和基礎講座」9月第4回 被爆体験講話** 講話者: 八木道子(元小学校教諭) 核兵器が実際に使用されたらどうなるのか。機会がある限り被爆者の生の言葉から学び続けよう。どなたでも参加できる市民講座です。参加をご希望の方は以下の申込み先より申込みください。形式: オンライン(Zoom 配信、見逃し配信あり) 資料代は1回1000円 申込み先: 以下のグーグル・フォームより申込みください。 <https://forms.gle/McpjdrWTcSZ5gZrW8> 問合せ先: メール: watanabeyosuke@peacedepot.org 電話: 045-633-1796 (担当: 渡辺)
- ☆9月30日（土）14:30～16:30 **絶対に「戦争させない」覚悟こそ! 横浜の港が戦場になるって本当?** 会場: かながわ県民センター301(90名、横浜駅西口徒歩5分) 講師: 羽場久美子さん(青山学院大学名誉教授) 800円(学生無料) 予約優先 申込み: ttuneisi@gf7.so-net.ne.jp、090-5433-6464 主催: ストップ秘密保護法かながわ、共同行動のためのかながわアクション
- ☆10月1日（日）13:30～16:00 **日本科学者会議千葉支部主催(ハイブリッド)第6回サイエンスカフェ** 話題: PFAS(有機フッ素化合物) 汚染、千葉のナウマンゾウについて 会場: 千葉市

文化センター9階市民活動支援センター会議室（千葉市中央区中央2-5-1、千葉中央ツインビル2号館 Tel:043-227-3081） 当支部では、科学の普及を目指す企画として、話題に興味がある子どもから大人までを対象に、不定期ですが「サイエンスカフェ」という談話会を企画開催しております。インターネットによる遠隔参加を実施予定です。URL については千葉支部事務局までお問合せ下さい。tozaki@faculty.chiba-u.jp

☆10月1日（土）14:00～ **海老名市民平和集会&パレード** 場所：海老名中央公園七重の塔前（小田急線海老名駅徒歩5分） 15時パレード出発 主催：実行委員会 問合せ：090-9958-8285（神谷さん）

☆10月1日（日）14:00～16:30 **軍需産業強化法の施行にNO！「死の商人国家」に墮落するのか？！ 殺傷武器の輸出に反対する 10.1 市民集会** 会場：文京区民センター3階・3A（後樂園駅、春日駅） 講演：「殺傷武器の輸出と憲法の平和主義」（仮）青井未帆さん（学習院大学教授、平和構想提言会議共同座長） 発言：「武器支援が国際協力なのか？ 途上国援助の新たな枠組み『OSA』」今井高樹さん（日本国際ボランティアセンター、JVC 代表理事）、「武器輸出が働く人の権利を奪う」海老根弘光さん（東芝の職場を明るくする会）、「『良心的軍事拒否国家』に向けて」杉原浩司さん（武器取引反対ネットワーク [NAJAT] 代表） 資料代 700 円 主催：STOP 大軍拡アクション 連絡先：TEL 090-6185-4407（杉原）メール anti.arms.export@gmail.com 参加団体：島じまスタンディング、大軍拡と基地強化にNO！アクション 2022、ヨコスカ平和船団、非核市民宣言運動・ヨコスカ、武器取引反対ネットワーク（NAJAT）

☆10月1日（日）15:00～16:00 **原子力空母いらない！オスプレイNO 爆音なくせ、原発ゼロ、戦争法廃止、市民と野党の共闘で政治の流れを変えよう、母港化に反対する 10・1 横須賀集会** 会場：横須賀市 ヴェルニー公園 雨天決行 規模：1000 名 集会後デモ行進：横須賀中央駅周辺までのコース 主催・呼びかけ：原子力空母いらない！横須賀集会実行委員会（安保破棄中央実行委員会／安保廃棄神奈川県統一促進会議／原子力空母の横須賀母港阻止三浦半島連絡会）

☆10月2日（月）18:00～ **10.2in東京 戦争する国は許さない 沖縄と連帯するつどい** 会場：文京シビック・小ホール 講演：安保関連3文書と沖縄～日本の軍事大国化と戦争の危機～ 前泊博盛さん（沖縄国際大学・大学院教授） 報告：石垣島のいま 藤井幸子さん（石垣の自然と平和を守る市民連絡会） 国会報告・あいさつ：赤嶺政賢さん（日本共産党衆議院議員） 団体、地域からの発言 主催：全国革新懇、安保破棄中央実行委員会、東京革新懇、安保破棄東京実行委員会 問合せ：全国革新懇 ☎03-6447-4334、安保破棄中央実行委員会 ☎03-3264-4764

☆10月5日（木）19:00～21:00 **九条の会大集会ー大軍拡反対！憲法改悪を止めよう！** 会場：なかのZERO大ホール（中野駅南口徒歩10分） 講演：田中優子さん（前法政大学総長、九条の会世話人）「岸田政権の軍拡・改憲に単は位する声を！」、中野晃一さん（上智大学教授、市民連合運営委員）「改憲・軍拡でなく、『安心供与』を」、文化行事、地域・分野からの発言 参加費 999円（学生・障害者500円） 主催：九条の会 協賛：戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会、安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合 問合せ：九条の会事務局（03-3221-5075）

☆10月7日（土）10:00～17:45 **日本科学者会議東北地区シンポジウム 2023「環境・食糧問題におけるSDGsについて考える」** 場所：青森市民ホール 会議室（1）（青森県青森市柳川1丁目2番14号、JR青森駅徒歩3分） 参加費：1000円（会員以外の方もご参加いただけます、当日受付で頂戴します） 10:00 開会式、10:10 全体説明、10:30 特別報告「核燃サイクル問題ーその教育と実践」 報告：だまっちゃんおれん津軽の会代表 宮永崇史氏、12:00 昼食休憩、13:00 テーマ別分科会1「環境のためのSDGs」 テーマ別分科会2「食糧の持続供給とSDGs」 16:00 総合討論 17:00 閉会集会 18:00 懇親会（希望者のみ、会費6000円程度を見込んでいます） 参加ご希望の方は、下記のurlからお申し込みください。（申込み〆切 9月28日） <https://forms.gle/xNPtLopSjYmuvWv38> お問い合わせ先：日本科学者会議東北地区シンポジウム実行委員会事務局（jsa.aomori.touhoku.symposium@gmail.com）

☆10月7日（土）11:00～14:00 **ピースフェスティバル in 大和・綾瀬 2023 秋** 会場：大和駅東側プロムナード ピースコンサート：李政美 with 竹田裕美子、ラヒン・カユマンギ、ナーグシク・ヨシミツ、キッズダンスパフォーマンズ 模擬店コーナー：沖縄物産など アジアの平和と基地問題を考えるパネル各種 主催：実行委員会 連絡先：046-240-7450（厚木爆同気付） 後援：大和市、綾瀬市、大和市・綾瀬市教育委員会

☆10月8日（日）13:30～16:00 **第19回横浜市非核兵器平和都市宣言市民のつどい** 会場：かながわ県民センター2階ホール（JR横浜駅西口徒歩5分） 参加費800円、高校生以下無料 講演：田

井中雅人（朝日新聞記者）「核時代を終わらせるために」、和田征子（横浜市原爆被災者の会会長）「伝えたいー核兵器が使用されるとどうなるか」、報告：高校生平和大使、徳田悠希（核兵器廃絶日本キャンペーン準備事務局）「核のない持続可能な社会へのアクション」 主催：実行委員会 問合せ：090-8726-5227（吉沢さん）

☆10月8日（日）14:00～16:00 **日本科学者会議「日本の科学者」編集委員会主催 第17回 JJS オンライン読書会** テーマ：核兵器廃絶のための市民と科学者の共同 『日本の科学者』（JJS）2023年8月号をご用意ください。参加申込み：JJS編集委員会 mail@jsa.gr.jp

☆10月9日（月）13:30～15:30 **講演会「憲法と私たちの暮らし」** 会場：伊勢原シティプラザ 1階（定員80人、小田急線伊勢原駅徒歩6分） 講師：前川喜平（元文部科学省事務次官） 資料代1000円 主催：雨岳民権の会 問合せ：090-2142-8677（豊さん）

☆10月11日（水）18:00～21:00 **オルタナティブな日本をめざして（第92回）「どうした、どうする、NHK」（長井暁さん：新ちょぼゼミ）** 講師：長井暁さん（ジャーナリスト、元NHKチーフ・プロデューサー） 会場：スペースたんぽぽ（高橋セーフビルの1階、JR水道橋駅西口から5分） 参加費（資料代含む）800円（学生400円） 予約：たんぽぽ舎 ☎03-3238-9035、fax03-3238-0797（上記に電話していただき「受付番号」をもらってください）

☆10月14日（土）9:30～12:00 **地球沸騰化の時代にお天道様からヨコハマのみなさんへ** 会場：横浜市技能文化会館（関内駅徒歩5分） 講師：明日香壽川さん（東北大学教授）「ゼロから学ぶ気候危機の現状と再エネに向かう世界」、桃井貴子さん（気候ネットワーク事務局長）『横浜脱炭素イノベーション協議会』とは何か 参加費500円（学生無料） 主催：白クマと考える「地球の未来」@ヨコハマ 問合せ：090-4703-6422

☆10月14日（土）13:30～17:00 **第60回教科書を考えるシンポジウム 教科書制度を考える（その1）知られざる教科書価格～そのかげで進む教科書統制** 会場：出版労連（地下鉄本郷3丁目駅、zoom併用） 報告：吉田典裕さん（出版労連）「教科書価格制度の実態とその問題」 協力金800円 連絡先：子どもと教科書全国ネット21 問合せ：03-3265-7606

☆10月14日（土）14:00～16:30 **小出裕章さん講演会** 会場：あーすぷらざ・プラザホール（JR本郷台駅徒歩3分） 参加費：一般1000円、学生500円 講演：小出裕章さん（元京都大学原子炉実験所助教） 太鼓演奏：太鼓集団「荒武者」 主催：根岸線沿線九条の会 連絡先：090-7175-1911（後藤）

☆10月15日（日）13:30～ **トーク・シンク・アクション I女性会議神奈川県本部60周年記念講演会** 講演：軍事化とジェンダー～軍事化は平等・多様性を止める 講師：杉浦ひとみさん（弁護士） 会場：かながわ県民センター2階ホール（横浜駅西口徒歩5分） 参加費無料 主催：I女性会議神奈川県本部 連絡先：045-662-8148

☆10月15日（日）13:30～16:30 **ゲノム問題検討会議セミナー（現地、ZOOM併設）『脳科学技術／ブレイン・マシン・インターフェイス（BMI）と社会』** 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟404（小田急線参宮橋駅徒歩約7分） 講師：福士珠美さん（東京通信大学人間福祉学部教授）「ブレインテックと倫理課題」、四ノ宮成祥さん（防衛医科大学校長）「脳科学研究に潜むDual Useの側面」 司会：島藺進さん（大正大学客員教授、東京大学名誉教授） 参加費：1000円（現地参加及びZoomとも） 後日期間限定の逃がし発信あります Zoomの場合 事前にお振込みください 郵便局からのご送金の場合：口座番号 10290-70860881、他行からのご送金の場合：ゆうちょ銀行 028 店（ゼロニハチ） 普通 7086088 口座名義 神野玲子 Zoomの方は事前申し込み：参加希望者は事前に下記メールあてに必要事項明記の上10月13日までに申し込みください。必要事項：名前、職業、メールアドレス 申込先 E-mail jreikochan@yahoo.co.jp またはこちらから→ <https://forms.gle/zC9TGjQHP5wrHWtAA> 当日の詳細案内：ZOOM参加申し込みされた方には10月13日ごろにZOOMのURL等ご案内します。主催：ゲノム問題検討会議 <https://www.gnomeke06.net/> 問合せ：神野玲子 E-mail jreikochan@yahoo.co.jp 携帯番号 090-2669-0413

☆10月15日（日）14:00～17:00 **憲法連続講～混迷する岸田政治を問う オンライン開催 第3回 ⑤「グリーントランスフォーメーションと原子力発電」** 報告者：藤野美都子さん（福島県立医科大学特任教授）、⑥「税と財政の平和主義」報告者：永山茂樹さん（東海大学教授） Zoomアプリによる集会です（参加無料） 参加予定の方は、kenponet103@gmail.comまでご連絡ください。主催：憲法ネット103 <https://kenponet103.com>

☆10月21日（土）9:30～12:00 **かながわ市民連絡会全体会** ズームによるオンライン開催 議題：各区の報告、意見交換など 問合せ：080-3402-3360（内藤繁）

- ☆10月21日（土）13:30～ **第4回山中市政を進める市民の集い** 会場：市従会館4階ホール（桜木町駅徒歩13分） 資料代500円 趣旨 統一地方選挙後の岸田内閣と地方自治体の役割や山中市政の状況などについて学習し、今後の活動に生かす集いとする。内容：①講演「岸田内閣と地方自治について」講師 岡田知弘（京都橋大学教授）、②市議会各党派や山中市政などの報告、③山中市政のこれまでの報告など 主催：市民の市長をつくる会 問合せ：045-650-1896
- ☆10月23日（月）18:00～21:00（予約必要）**オルタナティブな日本をめざして（第93回）：「自衛隊も米軍も日本にはいない！ 恒久平和を実現するための非武装中立論」（花岡蔚さん：新ちよぼゼミ）** 会場：スペースたんぽぽ（高橋セーフビルの1階、JR水道橋駅西口徒歩5分） 参加費（資料代含む）800円（学生400円） 講師：花岡蔚さん（1966年東京大学法学部政治学科卒、1975年カリフォルニア大学バークレー校経営学修士。1966年日本勧業銀行（現みずほ銀行）入行。2006年カリタス女子短期大学非常勤講師（時事英語）。2003年「自衛隊イラク派兵反対集会」を機に市民運動に参加、オーバー東京（A9S）、コスタリカに学ぶ会会員、9条地球憲章の会、SA9（Second Article 9、埼玉県日高市発祥の平和運動）、不戦兵士・市民の会、撫順の奇跡を受け継ぐ会、米軍基地をなくす草の根運動などの活動支援をしながら全国を講演行脚中。） 予約の受付窓口：たんぽぽ舎（水道橋）：TEL 03-3238-9035 FAX 03-3238-0797（上記に電話して「受付番号」をもらってください）
- ☆10月28日（土）14:00～16:00 **ピースデポ「脱軍備・平和基礎講座」10月第5回 軍事研究への傾斜と学術会議「改革」問題** 講師：池内了（名古屋大学名誉教授）日本の学界は、敗戦後少なくとも公的には軍事研究を行ってこなかったが、数年前からこの原則を破り、さらに経済安保法等によってより大きな流れになりつつある。それにどう立ち向かうべきかを考える。どなたでも参加できる市民講座です。参加をご希望の方は以下の申込み先より申込みください。形式：オンライン（Zoom 配信、見逃し配信あり） 資料代は1回1000円 申込み先：以下のグーグル・フォームより申込下さい。https://forms.gle/McpjdrWTcSZ5gZrW8 問合せ先：メール：watanabeyosuke@peacedepot.org 電話：045-633-1796（担当：渡辺）
- ☆10月28日（土）17:30～20:00 **第10回渡辺治の憲法情勢徹底分析 STOP! 戦争国家への道～憲法活かし平和外交** 会場：鎌倉生涯学習センターホール（鎌倉駅東口徒歩3分） 入場料500円 20歳以下無料 申込み：メールkamakura9jo@gmail.com 氏名・電話・予約枚数、Fax 0467-60-5410 氏名・電話・Fax・予約枚数、店頭 島森書店、たらば書房 問合せ：0467-24-6596 主催：鎌倉・九条の会
- ☆10月29日（日）14:00～16:00 **第33回市民連合全国意見交換会** オンライン開催 主催：市民連合事務局（竹内、菊地） 連絡先：TEL 03-5289-8222（平和フォーラム） 携帯 090-4437-2175（菊地）
- ☆11月2日（木）18:00～21:00 **30周年創刊記念大集会 なんだかんだで30年 読者と歩む『週刊金曜日』** 会場：日本教育会館一ツ橋ホール（地下鉄神保町駅A1出口3分） 参加費2000円（当日3000円、全席自由） 出演：雨宮処凛、宇都宮健児、想田和弘、田中優子、崔善愛 メッセージ：本多勝一 ゲスト出演：松本ヒロ チケット販売：チケットぴあの次のサイトで購入下さい。http://ticket.pia.jp /pia/event.ds?eventCd=2327724 Pコード：651166 主催・問合せ：（株）金曜日（03-5846-9001）
- ☆11月19日（日）10:00～16:00 **第11回人権シンポかながわ** A. 10時～12時、情報文化センター6階ホール 上映会「凍りついた魂 袴田巖に襲いかかった死刑えん罪」、講演：小川秀世さん（弁護士）「袴田事件 誤判原因と再審公判の現状」 B. 10時～12時、弁護士会館5階 講演：堀越芳乃さん（国境なき医師団日本アドボカシー）「あなたのバトン、繋げます！～寄付・遺贈のススメ」 C. 10時30分～12時、zoomウェビナー（定員500名） 講演：鈴木宣弘さん（東京大学教授）「食料危機と日本の貧困」 D. 12時30分～13時30分、弁護士会館5階 神奈川県弁護士会人権賞贈呈式 E. 14時～16時30分、弁護士会館5階 講演：山本すみ子さん（関東大震災時朝鮮人虐殺の事実を知り追悼する神奈川実行委員会代表）・鄭栄桓さん（明治学院大学教授）「1923年9月、横浜で何が起きたのか～関東大震災時の虐殺と現在」 F. 14時～16時、弁護士会館4階（定員50名）、zoomウェビナー（定員500名） 講演：及川敬貴さん（横浜国立大学教授）「ネイチャーポジティブのための社会デザインー生態系サービスと『手入れ』の視点から」 主催：神奈川県弁護士会 問合せ：045-211-7705
- ☆12月09日（土）～11日（月）**「戦争国家」を許さない基地闘争全国交流集会 in 沖縄＋辺野古・勝連・宮古島行動** 主催：安保破棄中央実行委員会 行動内容（状況によっては変更することがあります）：＜1日目＞ 12月09日（土）那覇空港 13:00 集合 那覇空港出発→自衛隊勝連駐

屯地→辺野古→那覇市内ホテル 宿泊予定ホテル：ホテルルートイン那覇泊 羽田空港から出発の方(団体航空券利用)はスカイマーク 513 便 羽田空港 08:40 発/那覇空港 11:40 着 利用となります。＜2 日目＞ 12 月 10 日(日)基地闘争全国交流集会 in 沖縄(沖縄県青年会館 大ホール 10:00~15:00) 集会内容：開会あいさつ、沖縄県統一連からの報告、安保中央報告、各地の報告(依頼予定) 沖縄ー石垣 宮古 与那国 高江 うるま、全国ー東京 木更津 横須賀 岩国 馬毛島、討論・交流 宮古島行動参加の方は交流集会終了後、那覇空港での集合となります。那覇空港へは各自での移動となります。那覇空港 16:30 集合 →ANA1729 便 17:30 発 宮古島空港 18:20 着 → ホテルへ 宮古島空港からホテルまでは各自での移動となります。宿泊予定ホテル：ライジングサン宮古島 <3 日目>12 月 11 日(月) ホテル 出発 9:00 → 宮古島・下地島 調査行動 → 宮古島空港 解散となります。羽田空港へ帰着の方の利用便は ANA88 便 宮古島空港 16:20 発/羽田空港 19:00 着利用となります。参加申込み:参加を希望される方は別紙申込み用紙で安保破棄中央実行委員会に申し込んでください。申し込み締め切りは 2023 年 11 月 8 日(水)とします。羽田空港発の方で宮古島行動に参加の方は団体航空券利用の為の出発から宮古島解散まで同一行動を基本とします。羽田空港発で 2 日間のみの参加は復路航空券、羽田空港以外から参加する方はすべての航空券の手配はご自身でお願いいたします。参加費用(費用は出発前に申込書下部に記載の安保破棄中央実行委員会 口座に振り込んでください) 羽田空港発で宮古島行動参加の方:行程中の団体航空便(羽田/那覇/宮古島/羽田)+宿泊費 2 泊(シングル利用)+バス代+諸経費で 1 人 86,000 円となります。羽田空港発で 2 日目まで参加の方:往路団体航空便(羽田/那覇)+宿泊費 那覇分 1 泊(シングル利用)+バス代 1 日目+諸経費 1 人 32,500 円となります。なお、帰路航空券はご自身でお取りください。羽田空港以外から宮古島へ参加の方 (航空券はご自身で予約をお願いします) 宿泊費 2 泊分(シングル利用)+バス代(2 日間)+諸経費 1 人 27,500 円となります。羽田空港以外で 2 日目まで参加の方(航空券はご自身で予約をお願いします) 宿泊費 1 泊分(シングル利用)+バス代 1 日目+諸経費 1 人 13,000 円 となります。航空券の予約該当便は以下の通りです。ご自身での手配をお願いいたします。12/09 出発空港 → 那覇空港 13:00 那覇空港集合可能な航空便を予約してください。12/10 那覇空港 → 宮古島空港 ANA1729 便 17:30 発/18:20 着、12/11 宮古島空港 15:30 以降出発便 → 帰着空港 申込先：安保破棄中央実行委員会 FAX. 03-3264-4765、TEL. 03-3264-4764、E メール anpohaiki@nifty.com

☆12月9日(土)～12月10日(日) **第22回東京科学シンポジウム テーマ：理性と希望の平和な時代を拓くー国際的な軍事緊張の高まりに抗して** 前週等に変更の可能性があります 開催場所：都内予定 会場でのリアル開催(一部オンライン配信)を予定 主催：日本科学者会議東京支部 実行委員長 米田貢 連絡先：日本科学者会議東京支部第 22 回東京科学シンポジウム実行委員会 〒113-0034 東京都文京区湯島 1-9-15 茶州ビル 9 階 Tel/Fax：03-3811-8281 e-mail：22nd-kagaku@jsa-tokyo.jp

会費納入のお願い：本号に年会費の請求を入れました。会費未納の方は納入をお願いします。年会費は一般 10800 円、院生・読者・特別会員は 5400 円、送金先は、ゆうちょ銀行振替口座 0280-1-12774、名義は「日本科学者会議神奈川支部」です。

JSA 神奈川支部幹事会と発送作業：日時：10 月 17 日(火) 14:30~16:00 14 時 30 分から発送作業、15 時から幹事会 会場：横浜市中区不老町 1-6-9 第 1 HB ビル 5 階 B かながわ総研の新事務所(1 階に「牡丹飯店」という中華料理屋のある第 1 HB ビルの 5 階です。関内駅南口から徒歩 3 分)。連絡先：飯岡ひろし(携帯：090-1557-9941、E-mail：iioka408(at)gmail.com)

次号の原稿の募集：近況、論説、報告、旅行記、論評、自著紹介、書評、その他、原稿をメールまたはファックスでお寄せください。毎月 10 日ごろの締め切り、15 日ごろの発送です。

送り先：後藤仁敏(E-mail：goto(at)kd5.so-net.ne.jp、Fax：045-894-1052)